



津波防災の日(11/5)に際しての 石油連盟総合訓練について

2018年10月

東日本大震災を契機として、様々な分野で国土強靱化に向けた対策が進められている中、石油業界においても、対策の強化に積極的に取り組んできたところです。

このたび、以下のとおり、石油業界の強靱化に向けた取り組みの一環として昨年に引き続き、一万人を超える規模の、津波防災の日に際しての総合訓練を実施することといたしました。



石油連盟 会員各社は、「津波防災の日」(11月5日)もしくはその近傍で、次の取り組みを実施します。

		実施時期	参加者数
1	津波防災に関する講演会(※1)	10月25日	約80名
2	2018年度「災害時石油供給連携計画訓練」(※2) および見学会の実施	11月7日	約180名
3	製油所および油槽所(石油配送中継基地)で導入している 非常用発電機、ドラム缶出荷設備等(※3)の動作確認等	11月5日 ほか	約1,600名
4-1	各社の自主的な防災訓練の実施等	11月5日 ほか	約6,000名
4-2	緊急地震速報訓練への参加	11月1日	約3,400名

※1:石油化学工業協会および日本化学工業協会と共催(石連・石化協・日化協会員の安全防災担当者を対象として、津波防災および津波研究に関する専門家による講演会を石化協・日化協と合同で開催)。

※2:石油業界は、石油の備蓄の確保等に関する法律に基づく「災害時石油供給連携計画」(災害時に備えた地域ごとの計画を平時より共同で作成し、災害の発生により石油の供給不足が生じた場合には、当該計画に基づき、各社共同して石油の供給を確保するための体制を迅速に構築)を策定している。

※3:いわゆる「3点セット」(非常用発電機、ドラム缶出荷設備、衛星電話等情報システム)。

1. 津波防災に関する講演会 (10月25日(木)14:00～16:25)

各社安全防災担当者を対象とした大規模自然災害への対応に関する講演会を石化協・日化協と合同で開催(各団体会員の安全防災担当者を対象)。



昨年の開会挨拶

約80名の参加

- 横浜国立大学座間信作教授による、大規模地震時の危険物施設等の被害と防災・減災に関する講演。
- 川崎市総務企画局危機管理室佐藤正典担当課長による、川崎市の防災の取り組みに関する講演。
- 大規模な自然災害時の危険物施設の防災減災対策のあり方や自治体対応の一例として川崎市の事例を知ることにより、総合的な防災対策に万全を期すための具体的な検討の一助とすることを目的。
- 於：TKP東京駅大手町カンファレンス
カンファレンスルーム22A (東京都千代田区)



2. 2018年度「災害時石油供給連携計画訓練」 および見学会の実施(11月7日(水)13:30~17:00)

石油連盟では、2013年以降、東日本大震災での経験を踏まえ「災害時石油供給連携計画(以下、連携計画)」の実効性強化に向けた取組みを実施。

2015年度以降、同計画で設置される「共同オペレーションルーム」について、「シナリオ非開示」の訓練を実施しており、特に2017年度からは訓練の見学会を開始。

今年度も国内主要石油コンビナート地域等における大規模地震災害を想定し、過去の訓練や最近の災害対応で明らかになった石油供給上の課題についてもシナリオに織り込んで、議論を深める。

【第1部】シミュレーション訓練

【第2部】振り返り(課題抽出ワークショップ、講評等)

・約180名の参加見込み

2018年度
「災害時石油供給連携計画訓練」
見学会のご案内

石油連盟では、2013年以降東日本大震災での経験を踏まえ石油先売・精製会社が連携して大規模災害に対応する「災害時石油供給連携計画(以下、連携計画)」の実効性強化に向けた取組みを実施してまいりました。2015年度以降、同計画で設置される「共同オペレーションルーム」について、「シナリオ非開示」の訓練を実施しており、特に2017年度からは災害時の石油供給に係る関係者ご同様に石油連盟の災害対応体制について広くご理解を深めることを目的として、訓練の見学会を実施しております。

今年度も国内主要石油コンビナート地域等における大規模地震災害を想定し、過去の訓練や最近の災害対応で明らかになった石油供給上の課題についてシナリオに織り込んで、議論を深める予定です。実施要項は下記「参加のしやすさ」をご覧ください。多く参加の御期待に応えさせていただきます。

※本見学会は、毎年9月11日の開会を予定しておりますが、訓練により延期とさせていただきます。今年度もご案内させていただきます。

【日時】2018年11月7日(水)
13:30~17:00(受付12:45~)

【会場】経団連会館カンファレンス
2階 国際会議場
(ゴールデンルーム)
(東京都千代田区大手町1-3-2)
※アクセスは右記をご覧ください

○参加無料
○要事前申込

経団連会館(地下鉄「大手町」駅下車C2出口直結)
http://www.keidanren-kaikan.jp/map.html

受付:12:45~

第1部 シミュレーション訓練(13:30~15:45)

- 開会あいさつ 石油連盟
- 災害対応訓練
 - (1)訓練実施要領説明 石油連盟、株式会社富士通情報
 - (2)シミュレーション訓練(震災24時間)
 - (3)シナリオ解説 株式会社富士通情報

休場(15:45~16:00)

第2部 全体振り返り(16:00~17:00)

- 課題抽出ワークショップ
- 全体講評
- 全体質疑

主な対象者

- 卸売貯蔵、政府機関、石油販売業界、石油輸送業界、固定公共機関等の災害時の石油供給に関与する方

見学会参加申込方法

- メールでお申し込みください。 **申込期限:2018年10月24日(水)**
- メール件名に「2018石油供給連携訓練見学会」、メール本文に**お名前(姓優先、お申込責任名、ご所属部署名、連絡先電話番号)**を記載の上、ke2018@petroleum.jp までメールにてご返信ください。

主催:石油連盟
お問い合わせ先:調査・交流推進部 災害調査グループ 渡辺・松本(電話番号 03-5219-2303)
ご依頼いただいた個人情報は、本訓練用者名簿の提供の範囲と本見学会に係る連絡以外には提供いたしません。



3. 製油所および油槽所で導入している 非常用発電機、ドラム缶出荷設備、衛星電話の 動作確認等

いわゆる3点セット(非常用発電機、ドラム缶出荷設備、衛星電話等)を補助事業で導入した製油所・油槽所などにおいて、試運転や動作確認を行うとともに、衛星電話等による連絡テストを実施。

約1,600名の参加（125事業所）

- 非常用発電機については、試運転あるいは要領書の確認などを実施。
- ドラム缶出荷設備については、要領書の確認、ノズルの設置やドラム缶搬入などの模擬訓練あるいは実際の積み込み等を通じた使用方法の確認などを実施。
- 衛星電話については、事業所と本社の間での通話テストなどを実施。



4-1. 各社の自主的な防災訓練の実施等

11月5日もしくは近傍で、各社は自主的な地震・津波防災訓練を実施。各社製油所等における、大津波警報を受けた緊急放送の実施、緊急避難訓練、通報訓練、安否確認、装置の緊急停止の手順確認、事業所内の連絡訓練など。

なお、近畿地方整備局・堺市合同総合防災訓練(11月5日)において、緊急時燃料輸送訓練として、コスモ石油のタンクローリーによる堺市重要施設への模擬給油を実施予定。

約6,000名の参加(※1)

- 緊急避難訓練では、身の安全確保、避難指示と避難の実施、避難経路の確認や避難に要する時間の確認などを実施。
- 製油所装置の安全停止のため、その措置・手順等の確認は極めて重要。

※1:10月下旬～11月上旬に訓練を実施する製油所及び本社での参加者数。

4-2. 緊急地震速報訓練への参加

11月1日に実施される「緊急地震速報訓練」に参加し、気象庁が発信する緊急地震速報を受信する等、身の安全確保、避難、安否確認などの訓練を実施。

約3,400名の参加

(39事業所の積上げ)

- 製油所、本社、支店等での実施を計画。
- 11月1日10:00頃に気象庁が緊急地震速報を発信。国の機関、地方公共団体、民間企業、個人等が参加。



11月1日(木)は緊急地震速報の訓練に参加しましょう!

緊急地震速報を見聞きしたときに、慌てずに身を守る行動ができるようにしましょう

平成30年11月1日(木)10時00分頃に、訓練に参加する地方自治体の防災行政無線や、一部商業施設などで緊急地震速報の放送があります。

※訓練の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール(エリアメール)には流れません。(一部のエリアでは例外あり)

• 普段から、家具の固定など地震への備えをすすめ、津波避難場所なども確認しておきましょう!

国土交通省 気象庁

どうやって訓練に参加するの?

身の安全が最優先で、訓練に参加する場合は、事前に地域の防災行政無線や、一部の商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。気象庁のホームページなどでご確認ください。

• 参加する結果をお知らせの方
「参加した結果をお知らせする」ボタンをクリックして、参加した結果をお知らせください。

• 参加しない方
「参加しない」ボタンをクリックして、参加しない結果をお知らせください。

緊急地震速報を聞いた時、どうすればいいの?

緊急地震速報を見聞きしたときは、おぼろげにでも、身の安全を確保することが基本です。

• 身の安全が最優先で、訓練に参加する場合は、事前に地域の防災行政無線や、一部の商業施設などで緊急地震速報が放送される場合があります。気象庁のホームページなどでご確認ください。

• 参加する結果をお知らせの方
「参加した結果をお知らせする」ボタンをクリックして、参加した結果をお知らせください。

• 参加しない方
「参加しない」ボタンをクリックして、参加しない結果をお知らせください。

ネット訓練

ネット訓練は、地震の時の安全確保行動1〜3分、動かない(身をよじる)訓練です。

• 参加する結果をお知らせの方
「参加した結果をお知らせする」ボタンをクリックして、参加した結果をお知らせください。

• 参加しない方
「参加しない」ボタンをクリックして、参加しない結果をお知らせください。

緊急地震速報を活用した訓練について
(気象庁ホームページ)

【お問い合わせ先】 気象庁 地震火山部管理課 地震速報防災対策室
〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目5番地4号
電話: 03(3)5712(4)347 (内線4006)